

図書館業務の自動化省力化機器仕様

【1. IC機器】

項目	要求仕様
IC用ハンディ	・ICタグを貼付した資料に対して蔵書点検の読取が行えること。 ・コードレスであること。 ・5時間以上、充電なしで稼動できること。
ICゲート(2通路)	不正通過書名表示・音声ガイダンス・入館者カウントが行えること。
その他	公共図書館システムと連携を行い、IC貸出/返却/蔵書点検などが行えること。

場所	図書館情報館	公民館図書室等	合 計
ハンディ	20	0	20
ゲート	2	0	2

【2. 自動貸出機】

要求仕様	モニタ・本体・バーコードリーダー・レシートプリンタ・ICリーダを用意し、現在利用中の筐体に組み込むこと。
------	--

場所	図書館情報館	公民館図書室等	合 計
台数	13	3	16

【3. 自動返却機】

要求仕様	・館内に設置された返却ポストに自動返却機能を取り付けること。 ・自動返却機能に必要なICリーダ・端末などを含むこと。 ・取付については、建物施工業者と打ち合わせを行うこと。 ・本返却については、発注者側で実施するため、仮返却処理までを実施すること。
------	---

場所	図書館情報館	公民館図書室等	合 計
台数	4	0	4

【4. 読書通帳機】

要求仕様	・公共図書館の貸出履歴が印刷されること。 ・初回登録時は、図書館職員が操作し、業務用端末に接続した機器に通帳を置き、利用券バーコードを読み取ることで、ICチップに利用者番号を書き込むことができること。また、読書通帳に利用者番号・利用者氏名・通帳冊数等を印字できる機能を備えること。 ・2回目以降は、通帳を端末に差し込むことで容易に貸出履歴が印刷されること。
------	--

場所	図書館情報館	公民館図書室等	合 計
台数	2	4	6

【5. IC予約棚】

要求仕様	・ボックス型の棚アンテナであること。 ・ボックス1棚に40冊程度の資料が入ること。 ・予約棚コーナー入口にICゲート(1通路)を設置し、予約者以外の不当な持出を防止しつつ、コーナー外の一般書架の未貸出資料の持込み入退場には、反応しない仕組みを持つこと。 ・予約棚コーナーに予約案内機を1台設置し、利用券番号を読み込むことにより、取置された予約資料タイトルと棚番号でわかりやすく案内することができること。 ・予約案内機は省スペースPC・バーコードリーダー・タッチディスプレイ・レシートプリンタを有し、公共図書館システムと連携できること。 ・利用者が希望する場合、レシートプリンタへ予約案内票を印刷できること。 ・ICタグを読み込、予約資料の配架棚(棚番号)特定を行い、わかりやすく取り出し処理可能とすること。 ・予約棚コーナーの取置期限超過資料だけを、随時に一覧帳票として画面表示及び印刷ができること。 ・現場の棚筐体:4段24連に対して、各96棚の内寸と適合するよう製作加工したユニット型ICアンテナ筐体を埋め込むこと。 ・予約棚コーナーに自動貸出機を1台設置すること。 ・公共図書館システムより予約確保のデータを受け取った後、利用者自らが予約棚より予約資料を取出し、自動貸出機によって、予約資料のセルフ運用処理を実現すること。 ・設置や形状については、発注者と協議して実施すること。
-------------	---

【6. 予約本受取ロッカー:システムファインドピッカー】

要求仕様	・ 図書情報館休館時、閉館時間でも利用者が資料の受取を可能とすること。 ・ 設置場所は図書館館外2Fとすること。 ・ 公共図書館システムより予約確保データを受け取った後、図書館利用時間外や休館日においても、利用者自らが予約ロッカーより予約資料の取出を可能とすること。 ・ 利用券のバーコードおよび、スマートフォンに表示されたバーコードを読み込むことにより、自動的に置き置きされている資料のロッカーが開くことで、予約本受取ロッカーから置き置き資料を探す手間なく、予約資料の受取を可能とすること。 ・ ロッカー内部に貸出用アンテナが内蔵されており、予約資料を取り出した段階で、貸出情報が業務系サーバに送信されること。 ・ 操作画面にて利用案内や音声ガイダンスにより、操作方法を利用者に伝達する仕組みが整っていること。 ・ 筐体内に、省スペースPC・タッチディスプレイ・バーコードリーダーを有しており公共図書館システムと連携できること。 ・ 350冊程度収納可能で利用者に対し書籍のICタグを読み取り、自動で入出庫することができること ・ 現行の機器を継続利用することも可とするが、整備することで少なくとも5年間以上利用可能な状態を維持すること
-------------	---